

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	8 2	}	3 4	習志野市立 第一中学校 (習志野)
		{		
		{		
		}		
		}		

【評】

第1シードの昭和学院中とノーシードから勝ち上がってきた習志野一中との準決勝。互いにマンツーマンDefでスタート。昭和学院中は序盤から激しいディフェンス。習志野一中は攻めあぐみシュートが決まらない。昭和学院中は④池見のインサイドと、⑥西江瑠加也のドライブを中心に得点を重ねリードする。対する習志野一中も、⑤鈴木⑥村田が果敢に攻め、オールコートゾーンプレスに切り替えて相手のリズムを絶とうとする。後半に入ると、昭和学院中は④池見⑤山田の3Pで勢いに乗りリードを広げる。対する習志野一中も、⑥村田、⑨三喜田の巧みなシュートで対抗する。第4Qに入り、習志野一中はDefのプレッシャーを強め逆転を狙い、習志野一中④大崎、⑦佐藤の連続得点で勢いに乗るが、昭和学院中も確実にシュートを沈める。前半のリードを全員で守った昭和学院中が9年連続となる関東大会出場を決めた。敗れはしたものの、最後まで足を動かし全力でゴールに向かっていった習志野一中の健闘を称えたい。

〔女子準決勝〕

船橋市立 海神中学校 (船橋)	5 4	}	5 2	市川市立 第七中学校 (市川・浦安)
		{		
		{		
		}		
		}		

【評】

第2、第3シード校同士の準決勝。第1Q、互いにマンツーマンDefでスタート。市川七中は⑧田中のドライブなどで得点、対する海神中も⑥高橋、⑬干のリバウンドシュートが決まり市川七中のファウルを誘う。第2Qに入っても一進一退の攻防が続くが、市川七中がマンツーマンプレスで仕掛け市川七中⑥高橋のスティールからの得点でリードし前半を折り返す。後半、海神中はオールコートマンツーマンDefでしかけ、⑧目黒の連続3Pで同点に追いつくと、市川七中も⑩高柳のシュートで食い下がり緊迫した展開が続く。第4Qに入ってもシーソーゲームが続く、残り48秒のところでは海神中がフリースローを得ると⑥高橋は確実に2本沈めて差を詰める。たまたらず市川七中はタイムアウトを取りシュートに行くが、逆に市川七中のリバウンドファウル。海神中はこのフリースローも確実に決めて同点に追いつく。残り7.9秒のところでは海神中⑧目黒がフリースローを2本決めて逆転。市川七中は④田中、⑧田中が果敢に攻めるもシュートが決まらず試合終了。海神中が関東大会への切符を手にした。最後まであきらめずにボールを追い、シュートを狙い続けた市川七中の選手たちに拍手を送りたい。

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	8 1	}	3 2	船橋市立 海神中学校 (船橋)
		{		
		{		
		}		
		}		

【評】

女子決勝戦は、9連覇を狙う昭和学院中と、新人大会で準優勝の海神中との対戦となった。昭和学院中はオールコートマンツーマン、海神中はハーフコートのマンツーマンのDefでスタート。序盤、昭和学院中は⑥西江瑠加也のドライブや⑤山田の3P等でチャンスを実に得点につなげた。対する海神中も⑤矢野のドライブや⑥高橋のインサイドのパワープレイなどで得点する。昭和学院中は、足をよく動かしてプレッシャーの強いDefを展開。海神中が攻めあぐむ場面が見られた。後半にはいると、海神中はオールコートのプレスDefに切り替えて巻き返しを図る。それに対し、昭和学院中は落ち着いてリズムよくパスを展開してボールを運び、確実にシュートを決める。海神中は⑦矢沢のドライブなどで反撃をするも、終始積極的なディフェンスや、確実なシュートでバスケットをした昭和学院中が海神中を引き離し、9年連続16度目の優勝を決めた。敗れはしたものの、海神中の関東大会での活躍が楽しみである。両チームの関東大会での健闘を祈りたい。

〔男子準決勝〕

市原市立	7 3	19 - 10	}	5 4	千葉市立
		26 - 13			
辰巳台中学校 (市原)		14 - 14			磯辺中学校 (千葉)
		14 - 17			

【評】

第1シードの辰巳台中と、第4シードの磯辺中との対決は、辰巳台中④薬丸が3Pを決めたのに対し、磯辺中⑥佐藤が3Pを決め返す、お互いに譲らない好ゲーム。両チームともハーフコートマンツーマンで堅い守りを見せるが、辰巳台中⑥兼重の力強いポストプレーや⑦衛藤のドライブからの合わせから得点を重ねる。一方、磯辺中は④合阪がオフェンス・ディフェンスともに柱となりチームを牽引する。辰巳台中が大きくリードしてスタートした後半、磯辺中は⑤小川を中心に攻撃を展開し、1年生ながらコートに立った⑬鈴木も思い切りの良いプレーを見せた。対する辰巳台中は④薬丸、⑦衛藤の3P、⑥兼重のインサイドプレーからのバスケットカウントなどで得点する。第4Qに入り、磯辺中は、④合阪、⑤小川、⑥佐藤、⑧橋爪らが果敢にシュートを狙い得点をするも、辰巳台中は⑧石井のミドルシュートがよく決まり、その差が縮まらない。後半は一進一退の攻防が見られたものの、前半の得点差は縮まらず試合終了。辰巳台中が2年連続で関東大会への出場を決めた。最後まであきらめず攻め続けた磯辺中の選手たちに会場から暖かい拍手が送られた。

〔男子準決勝〕

千葉市立	4 8	6 - 14	}	6 8	八千代松陰中学校 (八千代)
		13 - 13			
土気南中学校 (千葉)		13 - 19			八千代松陰中学校 (八千代)
		16 - 22			

【評】

春の選手権大会準優勝の八千代松陰中と、リベンジを狙う土気南中との準決勝。互いにハーフコートマンツーマンでスタート。八千代松陰中は激しいディフェンスから相手のミス誘い、⑧田崎の速攻や⑦松岡の3Pを中心に速い展開で攻め得点を重ねる。対する土気南中は④古賀の1on1を中心にオフェンスを組み立てる。第2Qに入り土気南中⑦丘、④古賀、⑤森倉が次々と3Pを決めリズムをつかむ。対する八千代松陰中は⑦松岡、⑨梶本が確実にシュートを沈めリードする。後半に入ると八千代松陰中は⑥須賀⑧田崎の1on1、⑦松岡の3Pから得点を重ね、そのリードを広げる。土気南中も⑦丘、⑤森倉が果敢に攻めるもそのリードが縮まらない。第4Qに入っても八千代松陰中の激しいディフェンスが続く。土気南中はオールコートマンツーマンで仕掛け、⑥伊集院が果敢にドライブを決めて食い下がるも八千代松陰中リードのまま試合終了。八千代松陰中が3年ぶりに関東大会出場を決めた。最後まであきらめずに戦い抜いた土気南中の選手たちに会場から暖かい拍手が送られた。

〔男子決勝〕

市原市立	4 3	13 - 9	}	4 4	八千代松陰中学校 (八千代)
		12 - 14			
辰巳台中学校 (市原)		10 - 10			八千代松陰中学校 (八千代)
		8 - 11			

【評】

総体11年ぶりの優勝を目指す辰巳台中と3年ぶりの優勝を狙う八千代松陰中との決勝戦。互いにハーフマンツーマンDefでスタート。序盤、辰巳台中は⑥兼重をはじめ、④薬丸、⑦衛藤らの巧みなシュートがよく決まる。対する八千代松陰中は⑧田崎のアシストが光り、⑨梶本のインサイドシュート、⑤大谷のドライブで応戦。両者譲らない展開で後半にもつれ込む。一進一退の攻防が続く後半、激しいぶつかり合いの中でも、両チームの選手が集中してゴールに向かう好ゲームとなる。辰巳台中のリードで迎えた第4Q、辰巳台中④薬丸、⑧石井のドライブからのシュートが決まり、リードするかに見えるも、八千代松陰中は粘り強いディフェンスから、⑧田崎がドライブでシュートを決め、このクォーターではじめて逆転に成功。八千代松陰中の1点リードで迎えた残り0.2秒、辰巳台中は最後のワンプレーにかけるもシュートに至らず試合終了。八千代松陰中が3年ぶりの優勝を飾った。力のある両チームの関東大会での活躍が楽しみである。